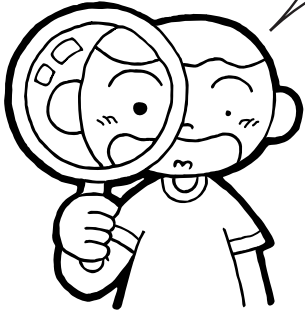




“まさか”の備え



今年は大雪に始まり、大震災と大津波、大型台風による河川の氾濫や土砂災害と日本各地で大きな被害が発生、海外でもタイの大洪水など、改めて自然の驚異を感じさせられた1年でした。幸いにも富山県では大きな被害はありませんでしたが、いつどこで発生するか分からない自然災害に備えて、普段どのような心構えが必要なのか、高岡市危機管理室の竹端和史さんにお話を聞きました。

高岡市洪水ハザードマップ(抜粋)

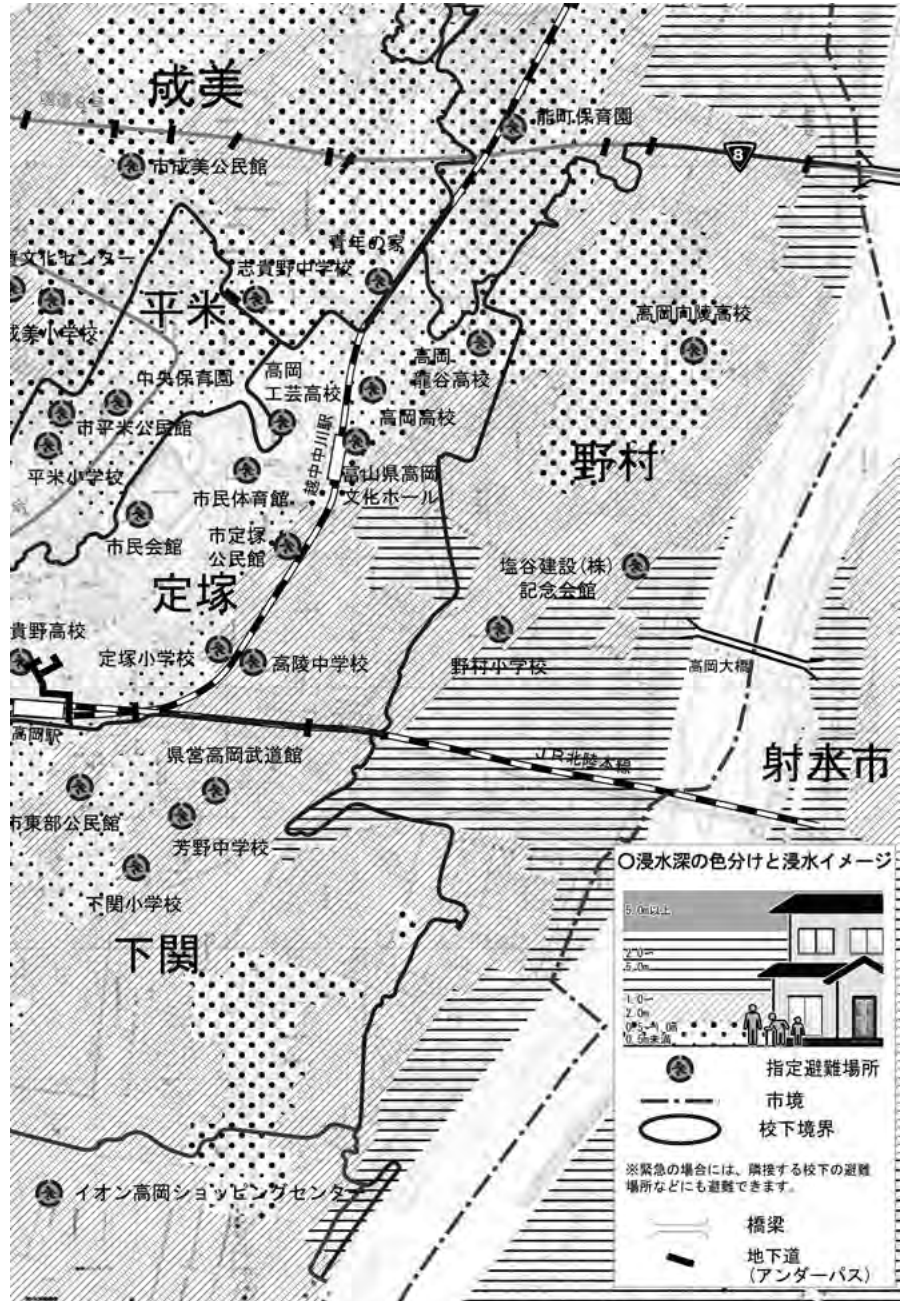
災害時に 野村で想定される被害

高岡市では洪水ハザードマップを作成して公開しています。このマップは庄川が150年に1度の、小矢部川が80年に1度の大雨によって増水した場合に、各所で想定しうる洪水を1枚にまとめたものですが、野村校区は全域で浸水の可能性が指摘されています。

また市では地震防災マップも作成しています。これは市内各地域の建物の構造などから、全壊する建物の割合を想定したものです。野村校区では直下型地震が起こった場合、最大震度6強の揺れを想定しており、広い範囲で10~30%の建物が全壊すると想定されています。

津波に関しては、平成11年に国が作成した津波予想図によると、野村校区は10メートルの津波でも浸水の想定はないものの、先の大津波を受けて、富山県では独自に津波の被害想定を作成中とのこと。また、最も大きな被害が予想される呉羽山断層帯の30年以内の地震発生確率は0~5%と高くないですが、想定されるマグニチュードは今年6.5から7.4に引き上げられました。

※それぞれのマップはインターネット上でも公開されています。「高岡市洪水ハザードマップ」「高岡市地震防災マップ」で検索してください。



日ごろから心がけておくこと、万が一の場合にどうするべきか

地震

地震による死亡、負傷で一番多いのは崩れた家や倒れた家具によるもので、阪神淡路大震災における負傷の8割はこの2つが原因です。本棚、冷蔵庫、テレビ、食器など、普段考えられないものが凶器になります。建物の耐震化と家具の固定をしておくことで、命が助かる確率は高くなります。

連絡方法

非常時に家族が一緒にいるとは限りません。災害用伝言ダイヤル“171”や携帯電話の災害伝言板の活用、遠くの親戚の家を連絡先にするなど、連絡を取り合う方法を話し合っておきましょう。また、避難場所は自宅の近くだけでなく、友達の家や塾の近くなど、行動範囲のどこにあるか確認することも必要です。

洪水

市の避難情報は避難にかかる時間も考え、余裕をもって出すことになっていますが、「避難指示が出てから」、「近所が逃げてから」逃げるのではなく、危ないと感じたら自分から逃げるのが原則です。最近は気象条件が変化しており、今夏の台風災害の時には避難情報が間に合わなかったり、伝わらなかったりして、気付いたら逃げられなかったというケースもあったようです。また、お年寄りのいる家庭は避難に時間がかかるので、特に早めの避難を心がけましょう。

非常時の持ち出し品

食料や水、懐中電灯、ラジオなど基本的なものに加えて、持病の薬や処方箋、赤ちゃんの粉ミルクやおむつ、メガネなど、個人の事情に合わせて非常時に何が必要になるか、各家庭で話し合っておくことが大切です。

(参考)洪水に関する避難情報の発令基準

避難情報の種類	避難準備	避難勧告	避難指示
発令時の状況	人的被害の発生する可能性が高まった状況。	人的被害の発生する可能性が明らかに高まった状況。	人的被害の危険性が非常に高い、または発生した状況。
取るべき行動	家族等と連絡、避難準備を開始。要介護者等、避難に時間を要する人は避難を開始。	避難行動を開始。	避難行動を完了。避難していない対象者は至急の避難行動、状況に応じて生命を守る最低限の行動。
参考になる庄川の水位(※)	氾濫注意水位(5.50m)	避難判断水位(6.60m)	氾濫危険水位(7.32m)

※観測は大門水位観測所(射水市大門新)による。

避難情報は川の水位だけでなく、気象情報やパトロールなどによる確認等、総合的な判断により発令される。

野村校区は33の自治会のうち26で自主防災会が組織化されており、未組織の自治会にも取り組みを呼び掛けているとのこと。その上には各防災会をまとめる連絡協議会も設置されており、野村地区は自主防災の意識が高い地区の1つになっているそうです。また8月29日には野村小学校で市の総合防災訓練も行われ、避難訓練や消火訓練が行われました。実際に体を動かさないと身につかないこともあるので、訓練の機会があればぜひ参加してほしいとのことでした。

今年度、5年生では“野村小学校BFC(少年消防クラブ)”が「私たちにできる防災の取り組み」として防災について学習し、その中で各家庭の防災意識についてアンケートをとっていますのでその結果を8ページに紹介しました。家族で過ごす時間が多い冬休みに、まさかの時について話し合ってみてはどうでしょうか。

こんなことしたよ!

P T A 親子活動

楽しく真剣に取り組みました。

1年親子活動

親子で白熱!!



6月26日(日)体育館で総勢246名参加の親子活動。

ボール渡しでは、クラス対抗で体育館をいっぱいを使い、どのクラスも大接戦(熱)。シippo取りでは、しっぽに夢中で、背後に気づかず取られてしまった親子(涙)、取られないよう必死で逃げ回る親子(汗)、保護者の方



がかなり興奮していた様子(笑)。親子やクラスの絆が深まった日になりました。

準備や進行をしていただいた学級長、父の会、先生方、皆様のご協力により、笑顔のあふれた楽しい親子活動を行うことができました。ありがとうございました。

1年学年長 都筑 啓子

3年親子活動

子ども VS 親

6月12日(日)野村小学校体育館にて、親子活動を行いました。



雑巾掛けレースでは、素早く次の人に代わる方法を各々で工夫して自分たちのチームを勝利に導いていました。またシippo取りゲームでは、友達と協力しながら敵のシippoを取りに行き、『子どもVS親』ではさらにハッスルし、親のシippoを取りに行くその姿は、わんぱくそのものでした。

皆さんの協力のおかげで子どもの成長に驚き、感心させられた親子活動でした。ありがとうございました。

3年学年長 熊木 智昭



4年親子活動

自転車交通安全教室

7月10日(日)高岡自動車学校にて「自転車交通安全教室」を行いました。

高岡自動車学校の指導員の方から自転車の乗り方の説明を聞いて、実際にコースを走って実技指導を受け、その後高岡警察署から交通安全講習を受けました。子どもたちが真面目に講習を聞いている姿が印象的でした。

また交通事故の怖さを知ってもらうため、ダミー人形を使用した衝突実験で、人形が跳ね飛ばされる場面



では、衝撃が凄くて驚いている児童が大勢いました。交通事故の怖さを知るこ



とができたのでよかったですと思いました。

関係者の皆様のご協力により、楽しく自転車の乗り方や交通ルールを学ぶことができました。



4年学年長 桜栄 伸也

5年親子活動

盛り上がった『ミニ運動会!』



6月19日(日)、5年生の親子活動「ミニ運動会」を開催しました。

競技種目は4種目。スプーンリレー、ボール運び、二人三脚、玉入れでのクラス対抗戦をしました。予想以上に、各種目、大変盛り上がりました。

スプーンリレーではボールと格闘する子どもたち。ボール運びでは親子の身長差のギャップがあり、保護者の方がきつそうな顔をしていました。二人三脚では子どもたちと息を合わせ、真剣に走る姿が印象的でした。玉入れはクラス皆で力を合わせ、1つでも多くのボールを入れようと頑張る子どもたちの姿がありました。

当初は、前例もなく不安を抱えての活動でしたが、全面的に協力して下さった先生方をはじめ、皆様のご協力には大変感謝しております。本当にありがとうございました。



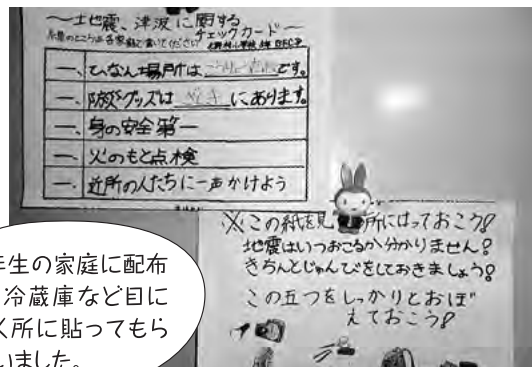
5年学年長 福田 雄太

野村小学校 BFC 「私たちにできる防災の取り組み」

防災に関するアンケート調査結果

今号では4～5ページで防災に関して特集しましたが、今年度、5年生による“野村小学校BFC（少年消防クラブ）”でも「私たちにできる防災の取り組み」と題して研究調査し、高岡市小学生火災研究発表会および学習発表会で発表しました。児童と親を対象に防災意識についてアンケート調査を行い、市担当者や野村地域消防団長に防災の取り組み方を取材しました。さらには各家庭で防災に対する意識づけを図るために「地震・津波に関するチェックカード」を作成して5年生の家庭に配布しました。この取り組みからアンケート結果とチェックカードを紹介します。

地震・津波に関するチェックカード



5年生の家庭に配布し、冷蔵庫など目につく所に貼ってもらいました。

防災に関するアンケート

児童への質問事項「はい」	保護者への質問事項「はい」
避難場所を知っている。 45%	災害時の避難場所を知っている。 86%
近所の人と助け合っている。 73%	町内の防災活動に積極的に参加している。 44%
料理の後始末をしている。 90%	料理の途中で火のそばを離れない。離れた時は火を消す。 94%
寝る前の火・電気チェックをしている。 97%	寝る前に火や電気などを消しているか点検している。 97%
避難集合場所を家族で話し合っている。 33%	万一の場合、家族でどこに集まるか決めている。 52%
災害伝言ダイヤルのことを知っている。 21%	災害伝言ダイヤルの番号、災害伝言掲示板の使い方を知っている。 23%
防災グッズのことを知っている。 33%	災害グッズを家庭に備えている。 18%

23年度 3学期行事予定

- | | |
|--------------------------|-------------------|
| 1月 8日(日) ウインドアンサンブル定期演奏会 | 3月 1日(木) 卒業を祝う会 |
| 10日(火) 3学期始業式・書初大会 | 6日(火) 謝恩会 |
| 26日(木) 6年スキー学習 | 10日(土) PTA資源回収 |
| 2月 2日(木) 5年スキー学習 | 11日(日) PTA資源回収 |
| 7日(火) 半日体験入学 | 16日(金) 卒業証書授与式 |
| 10日(金) 授業参観・懇談会 | 23日(金) 3学期終業式・修了式 |

「のむら」126号は1年生、6年生の広報委員が担当しました。
 スタッフ 山田恵美子・竹鼻ともみ・篠原真弓子・前田淑恵・橋詰恵子・関雅美
 広報委員長 高島一誠

